



沼津西ロータリークラブ

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2021-2022 年度・クラブテーマ

「和衷協同 ニューロータリー」

会長 山本 宜司 / 幹事 宮島 賢次

第 1419 回 第 31 巻 21 号 2022 年 5 月 12 日

例会プログラム

■ 地区協議会報告 ■

地区協議会参加者 理事会⑫

5 月のプログラム

1420 回 12:30 5 月 19 日(木)	アアガーデン迎賓館 ガバナー補佐期末訪問 太田 義隆ガバナー補佐
1421 回 12:30 5 月 26 日(木)	アアガーデン迎賓館 「青少年の薬物乱用防止」について の講演 沼津警察署(予定)

6 月のプログラム

6 月 2 日(木)	裁量休会
1422 回 12:30 6 月 09 日(木)	アアガーデン迎賓館 クラブ協議会⑤ 次年度活動計画 新旧理事会⑬
1423 回 12:30 6 月 16 日(木)	アアガーデン迎賓館 外部卓話 沼津 JC 理事長 向坂 真奈美 様
1424 回 18:30 6 月 23 日(木)	アアガーデン迎賓館 さよなら例会 (1 年を振り返って) 会長・幹事
6 月 30 日(木)	裁量休会

例会場 〒410-0046 沼津市米山町 3-37
アアガーデン迎賓館沼津
TEL 055-920-5200

事務局 久松会計事務所内
TEL 055-961-2050 FAX 055-961-2600
E-mail : numawestrc@gmail.com

例会日 毎週木曜日 12:30 点鐘
広報委員長 成田 みちよ / 編集者 成田 みちよ

会長挨拶

● 会長 山本 宜司 ●

皆さんこんにちは。

先日の 8 日に行われました千本浜清掃活動に参加された会員の皆さまお疲れさまでした。天気にも恵まれて 3 年ぶりに開催出来て良かったと安心しました。

先週の 4 日は「みどりの日」でした。近年住宅開発が進み都市の緑が減少して農地や宅地を細分化した分譲住宅地が多く見受けられます。

私の家の周りでも近年田んぼや畑が造成され分譲住宅になっています。コロナ社から出版されている環境緑地学入門という本の中に住宅地における緑の継承と街づくりの展開においてその住宅地の形態は画一的なものが多くを占め、緑の豊かさや地域らしさを感じられないことがある。一方で、「緑の街づくり」に代表されるワークショップやボランティアなどの「住民参加型街づくり」は年々活発になり、それらの活動は社会的にも認知されつつあります。とあります。

静岡県においては以前静岡県グリーンバンク事業において公共施設などの建設に際し植栽する場合補助金を出していました。ゴルフをやられる方はご存じだったと思いますが、以前ゴルフ場を利用する際に緑化協力金を頂きそれを原資として行っていました。

沼津市においても 4 月 29 日 30 日には御用邸記念公園において、沼津市緑化推進協議会主催によるみどり祭りが開催され多くの市民が花や緑を購入に訪れました。

「緑の街づくり」とは、緑の量を単に増やすことではなく、緑や花を通じて美しい風景を創出して上手にその街の仲間「緑」と付き合いながら、地域らしさや活力を育み、自然と人間が共生する街を作るための手段であり、重要なアイテムなのです。日本では国民人口の 8 割が国土面積のわずか 2 割の地域に密集し、国民人口の 2 割が国土の 8 割を占める農村部に住んでいます。

都市環境問題が深刻でその解決に向けてあらゆる手立てを使い静岡県においても小学校・幼稚園などの校庭の芝生化、緑のカーテン等緑を増やそうとしています。身近なところから緑の重要性を感じてみてはどうでしょうか。

出席報告 会員数 27 名

例会	会員数	出席数	出席率
1419 回	25 名	24 名	96.00 %

● 欠席者 (1 名)

渡邊 勝也

● 他クラブへの出席者

山本宜司、宮島賢次(4/23 米山記念館春季例祭)

土屋 昌之、渡邊 勝也、久松 但、重光 純、山本 宜司、
成田 みちよ、下田 朗弘、鈴木 和憲
(4/24 地区研修・協議会)
山本 宜司、宮島 賢次、小野 洋子
(4/29 地区奉仕活動委員会セミナー)
山本 宜司、宮島 賢次、杉山 恵嗣、土屋 昌之、久松 但、
成田 みちよ、芹澤 和子、芹澤 貞治、重光 純、
杉山 真一、鈴木 和憲、植松 正、山田 和典
(5/8 千本浜清掃)

● スマイル報告

- 1.成田 みちよ、2.山田 和典入会記念日のお祝いありがとうございます。
- 3.山本 哲之：家族の誕生日のお祝いありがとうございます。
- 4.山本 宜司：8日に行われた千本浜清掃活動に参加された皆様、お疲れ様でした。
- 5.山本 宜司、6.鈴木 良則：地区協議会の報告、よろしくお祈いします。
- 7.下田 朗弘：しばらく、休みが続いて、申し訳ございませんでした。
- 8.久松 但、9.成田 みちよ、10.下原 満知子、11.永井 克彦、12.小野 洋子：所用により、早退します。

幹事報告

1、他クラブの例会変更等

今週はありません

2、報告・連絡事項

- ① 5月8日(日)は3年ぶりの千本浜清掃を行いました。参加された皆様有難う御座いました。
- ② 次年度理事各位は、6月9日(木)クラブ協議会(次年度活動計画)を行いますので、計画書を5月26日までに必ず事務局に提出してください。
- ③ 本日は例会後理事会がありますので理事各位は出席をお願いいたします。

★ 理事会報告 ★

1、協議事項

- ① 6月度例会プログラムの件
クラブ管理運営委員長 土屋 昌之 君
・別紙プログラム → 承認
- ② バス旅行について
クラブ管理運営委員長 土屋 昌之 君
・別紙提案書 → 承認
・日時：6月5日(日) 10:30~15:00
(集合 沼津駅北口 10:20)
・行程：沼津駅北口(無料送迎バス 10:30 出発)
→御殿場高原ビール「グランテーブル」11:30-13:30
→沼津駅北口 15:00 着予定
・「御殿場高原ビール・グランテーブル」
個室プラン 120分

(ビール+ソフトドリンク飲み放題付)

- ・備考：会員家族の参加は会費同額と子供の参加は想定してません。
プラン詳細はコース料理及び飲み放題 アルコールはビール・焼酎・ワインとなります。※別紙参照

- ③ 6月23日(木)のさよなら例会について
クラブ管理運営委員長 土屋 昌之 君
・別紙提案書 → 承認
・日時：6月23日(木) 18:30~
・会場：アクアガーデン迎賓館
・備考：途中、会長・幹事に(1年を振り返って)をお願いします。(30分ほど)
会員の皆様に1言スピーチをお願いします。
- ④ 6月16日(木)の外部卓話者への謝礼について
クラブ管理運営委員長 土屋 昌之 君
・青年会議所 理事長 向坂 真奈美様へ謝礼 → 承認
- ⑤ 千本浜遊歩道内設置の看板修復について
奉仕プロジェクト委員長 杉山 恵嗣君
・修復費(別紙見積書) → 承認
- ⑥ 太田ガバナー補佐より富士ロータリークラブ夜間例会(5月28日)へのお誘いについて
今年度はIMも開催できなかったため、静岡第2グループの会長・幹事他(1クラブ3~5名)
・会費拠出 → 承認
- ⑦ 内田会員が代表の株式会社マツザキで歯科医院開院について
・クラブからお祝いとして生花を送る → 承認
- ⑧ 内田会員より5月末までの休会届けが提出されました
・負傷理由による → 承認
- ⑨ 鈴木良則君が6月20日の誕生日で90歳を迎えることについて
・記念品を贈る(会員増強維持委員会予算より拠出) → 承認
- ⑩ 今月からアクアガーデン迎賓館沼津を例会会場とする沼津北倫理法人会より、会所持品の会場保管拒否されたため当クラブ所有ホワイトボードの借用願いがあった件について(月1回程度)
・破損した場合の弁償と使用目的遵守の徹底を条件に使用許可する → 承認

地区協議会報告



次年度会長 土屋 昌之 君

今年度の地区研修・協議会はZoomでのオンライン開催となりました。参加者は800名以上になりました。最初の本会議で、次年度方針を説明いただき、その後分科会となりました。10の分科会に分かれ、それぞれ次年度の方針を聞きました。その後、各委員長から報告を受け会議は終了となりました。次年度の準備に向けてたくさんの学ぶべき事があり、有意義な協議会になりました。



次年度幹事 渡邊 勝也 君

ZOOM開催となりましたが、次年度の方向性を確認できる有意義な会議となりました。本会議の後の分科会では公共イメージ向上委員会に参加させていただきました。一番重要な事ですが、ロータリークラブ自体の認知度がまだまだ低いので、もっと世間に知ってもらい、関心を持ってもらうことで会員増強や、財団への寄付の活性化などにつながる事になりますので、広報の重要性を強化していく必要があると思いました。全体の流れは次年度に向けての大まかな内容ですので、クラブ全体に落とし込む為にも自分で再度内容について確認をしていこうと思います。



次年度会員増強・維持委員長

山本 宜司 君

会員増強・維持員会では、登録者数70名のうち57名が参加しました。地区委員長 焼津ロータリークラブ岡村委員長は次年度クラブ会長も兼任されているそうです。

最初に、小林聡一郎ガバナーの最初の挨拶とパワーポイント不具合の調整中の場つなぎの中で、まずは会員の現状維持が重要、ロータリークラブに対する意識の変化に対応しなければならない。2620地区は会員増強ワースト25人増強ではあるが、退会者が続出しているとの事。会長・幹事・委員長のやる気・本気度・使命感が重要 会員一人一人が増強委員長のつもりで意識を持つ事が重要。単年度が難しいのであれば複数年度で会員増強を目指す。その土地にあった変化・時代に即した会員増強。女性会員の増強も必要。岡村委員長による岩見沢ロータリークラブの事例紹介がありました。会員増強は、満足度と維持が密接関係であるとのことでした。



次年度奉仕活動委員長

下田 朗弘 君

次年度奉仕活動委員会では、新たな試みとして地区内のグループ毎奉仕活動事業支援金について説明がありました。単一クラブでは対応できない地域の奉仕ニーズへの対応、地区内のクラブ連携や連帯を高めることで、奉仕活動事業の活性化を図ることを目的に、グループ内のクラブによる合同奉仕活動に対して最大30万円の支援を受けることができます。今後、地区全体及び各グループ毎に、合同奉仕活動を検討していくこととなります。



次年度ロータリー財団副委員長

成田 みちよ 君

ZOOMでの分会研修では、甲府北ロータリーの中川則昭副委員長よりロータリー財団とは?の説明後、ロータリー財団の関わりについて説明がありました。次にロータリー財団の補助金2種類についての説明があり、地区補助金については志田年度77クラブ中62クラブへ奉仕事業へ有効活用され、グローバル補助金の実施例では焼津・焼津南・静岡南・第2620地区のロータリークラブがスリランカ、ニカウィラティヤロータリークラブ・第3220地区と一緒に水道のない極貧の村(115世帯)に深井戸・給水タンク・各戸へ給水管を設置などの報告がありました。その他に財団への寄付の実績・ポリオプラスの現状・ロータリーカードの実績報告もあり

ました。
皆様の寄付が財団法事事業の要ですので、ご理解・ご協
力をお願い致します。との事でした。



次年度クラブ管理運営委員長
重光 純 君

ロータリープログラム委員会及び危機管理委員会の分科
会に参加致しました。

ロータリープログラム委員会では、委員会の活動方針の
説明の後、インターアクト小委員会及び青少年交換小委
員会から今年度の活動計画の説明があり、インターアク
トの指導者講習会が今年10月15日(土)にZOOMで開催さ
れることが明らかになりました。

また、危機管理委員会では、セクハラや虐待の申立てが
あった場合におけるRIのゼロ容認方針(申立事実の真偽
や重大性等にかかわらず常にRIに報告する)についての
説明がなされました。

当クラブではインターアクトも米山奨学生の受け入れも
あることから、いずれについても無関心ではいられない
ところであると思われます。



米山記念奨学委員会 カウンセラー
鈴木 和憲 君

2620 地区 2021-2022 年度 地区研修・協議会は4月24
日(日)リモートによる開催で13:00より本会議が始まり、
開会の言葉、歓迎の言葉、出席者紹介、ガバナー挨拶等
の挨拶があり、14:00より分科会に移り、移動・休憩の
後、14:50より全体会議に移り、各委員会が5分程度の時
間で各委員長が話をしました。米山記念奨学委員会は
15:30より次年度委員長の渡辺氏より話があり、ロータ
リー米山奨学会を支える寄付金について目標16,000円以
上/人・年を達成できるようご協力をお願いしたいとのこ
とで、2620地区では平均14,331円、全国平均15,516円
だそうです。それから、卓話の推進(地区委員・奨学生・
学友会)を図ってほしいこと。又、世話クラブへの立候補
をしてほしいこと。
又、米山記念奨学委員会の全クラブ訪問をすべく現在ス
ケジュールを立てていると話していました。

5月8日(日) 千本浜清掃奉仕





沼津西ロータリークラブ

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2021-2022 年度・クラブテーマ

「和衷協同 ニューロータリー」

会長 山本 宜司 / 幹事 宮島 賢次

第 1420 回 第 31 巻 22 号 2022 年 5 月 19 日
例会プログラム■ ガバナー補佐期末訪問 ■
太田 義隆 ガバナー補佐

5 月のプログラム

1421 回 12:30
5 月 26 日(木) アクアガーデン迎賓館
「青少年の薬物乱用防止」についての
講演 沼津警察署(予定)

6 月のプログラム

6 月 2 日(木)	裁量休会
1422 回 12:30 6 月 09 日(木)	アクアガーデン迎賓館 クラブ協議会⑤ 次年度活動計画 新旧理事会⑬
1423 回 12:30 6 月 16 日(木)	アクアガーデン迎賓館 外部卓話 沼津 JC 理事長 向坂 真奈美 様
1424 回 18:30 6 月 23 日(木)	アクアガーデン迎賓館 さよなら例会 (1 年を振り返って) 会長・幹事
6 月 30 日(木)	裁量休会

例会場 〒410-0046 沼津市米山町 3-37
アクアガーデン迎賓館沼津
TEL 055-920-5200事務局 久松会計事務所内
TEL 055-961-2050 FAX 055-961-2600
E-mail : numawestrc@gmail.com

例会日 毎週木曜日 12:30 点鐘

広報委員長 成田 みちよ / 編集者 成田 みちよ

会長挨拶

● 会長 山本 宜司 ●

皆さんこんにちは。

5 月 19 日例会に出席頂きありがとうございます。

本日の例会は、ガバナー補佐期末訪問です。

太田ガバナー補佐後程よろしくお願い致します。

先週 14 日土曜日に国際ロータリー第 2620 地区
2021-2022 年度静岡第 2 グループ第 4 回会長・幹事会
2022-2023 年度第 2 回会長・幹事会新旧合同会議が富士
宮で開催されました。また今週末には地区大会が行われ
宮島幹事と出席してまいります。さて、先日 14 日(日本時間 15 日) MLB 大谷翔平選手が
メジャー通算 100 号本塁打を記録しました。松井秀喜・イチローに次ぐ 100 号本塁打で 459 試合目で
の達成は日本人最速での到達だそうです。彼は 1994 年 7 月 5 日生まれの 27 歳岩手県出身。2013 年
に日本ハムにドラフト 1 位で入団。彼自身は高校卒業後
すぐにメジャーに行くつもりでしたが強硬指名されま
した。のちに 2018 年 MLB エンゼルスに入団しました。そ
して昨年ご存知のようにア・リーグ MVP となりました。
先日の試合の実況では「岩手の宝」と言っていました。
彼は岩手だけでなく「日本の宝」です。岩手県出身のプ
ロ野球選手と言えば MLB 菊池雄星選手や日本のプロ野球
ロッテの先日完全試合をやり遂げた佐々木朗季選手もそ
うです。大谷選手は菊池選手にあこがれて花巻東高校に
入学したそうです。佐々木選手はまた大谷選手を目標と
していたそうです。なぜに、岩手県からこのような大選手が誕生するのか？
一説には岩手には J リーグがないため子供たちは皆野球
をやる。もう一つは指導者がしっかりしている。とかく
指導者は感情的に愛の鞭という暴力をしがちですが信念
をもって指導していることが優秀な選手を輩出できる要
因ではないかと。今でも愛の鞭を振るう小学校・中学校や、高校の監督・
コーチがいることでしょう。しかしながらそれでは大谷
選手のような大スターは生まれない事でしょう。

以上会長挨拶とさせていただきます。

出席報告 会員数 27 名

例 会	会員数	出席数	出席率
1420 回	25 名	19 名	76.00 %

● ゲスト

1. 静岡第 2 グループガバナー補佐 太田 義隆 様
(富士 RC)
2. 静岡第 2 グループガバナー補佐事務局 佐藤 昌久 様
(富士 RC)

● 米山奨学生

曹 鑫鑫 君

● 欠席者（6名）

久松 但、宮口 雅仁、本村 文一、下田 朗弘、
下原 満知子、山田 和典

● 他クラブへの出席者

山本 宜司、宮島 賢次、土屋 昌之、渡邊 勝也
(5/14 会長・幹事会)

● スマイル報告

1. 山本 宜司、2. 鈴木 良則、3. 成田 みちよ、
4. 颯川 ゆう子、5. 鈴木 和憲、6. 渡邊 勝也
太田ガバナー補佐、本日の卓話、よろしくお願ひ
します。
7. 永井克彦：度々で、申し訳ございません。本日、早退
します。

幹 事 報 告

1、他クラブの例会変更等

- ① 富士宮 RC：5月26日(木)を27日(金)近江八幡 RC
との交歓例会に変更 MJなし
- ② 沼津柿田川 RC：5月25日(水)を夜間例会に変更
MJなし

2、報告・連絡事項

- ① 6月5日(日)の縮小バス旅行および23日(木)のさよ
なら例会の出欠席の記入をお願いいたします。
- ② 次年度理事各位は、次年度活動計画書を5月26日
までに必ず事務局に提出してください。

ガバナー補佐 期末訪問



静岡第2グループ ガバナー補佐
太田 義隆 様

期首訪問ではSRF（ロータリー未来計画）について卓話
をさせていただきました。

今回はDEI（多様性、公平性、包摂性）について卓話を
させていただきます。

DEI とはD=Diversity：多様性 E=Equity：公平性 I
=Inclusion：包摂性の頭文字であります。

そもそも DEI の前に D&I (Diversity&Inclusion) という大手企業の経営戦略の一つとして生まれた概念がありました。D&I では簡単に言いますと、「多様性を重視しつつ、お互いを認め合い、良いところを活かしていこう」という意味になります。しかしながら D&I の足りないところは、個人差をきちんと考慮して、それぞれに見合ったリソースの配分をする= Equity(公平性)であります。そこで D&I の次に生まれた概念が DEI となります。

また、Equity (公平性) はしばしば Equality (平等性) と間違えられますが、Equality は全てのものに同様な物事を供与することであり、Equity は個人に見合った物事を供与することです。

DEI の難しさには「無意識のバイアス」があり、私たちに認識していない感情、印象、思い込み、恐怖心があることに注意しなければなりません。

ロータリーにおける DEI の成り立ちは、2019年に DEI に関する声明が理事会より発せられ、2021年には DEI の行動規範が理事会で承認されました。

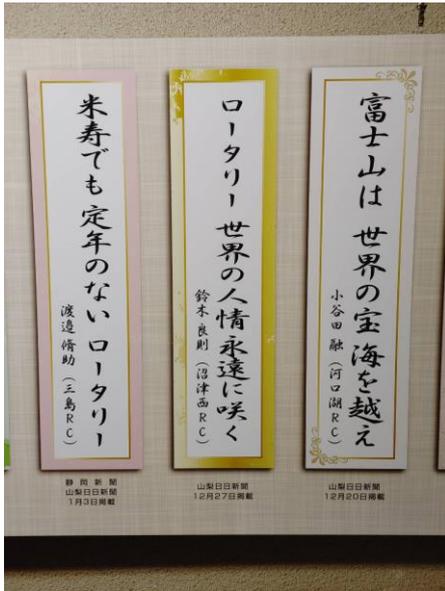
DEI の行動規範は、・他者を尊重する言葉を使う ・サポートを示す ・温かく迎入れるインクルーシブな環境を助長する ・多様性を重んじるであります。今後のロータリーと DEI の取り組みは、この行動規範を理解、順守することを念頭に入れ活動計画や活動の実施に取り組まなければなりません。

地 区 大 会

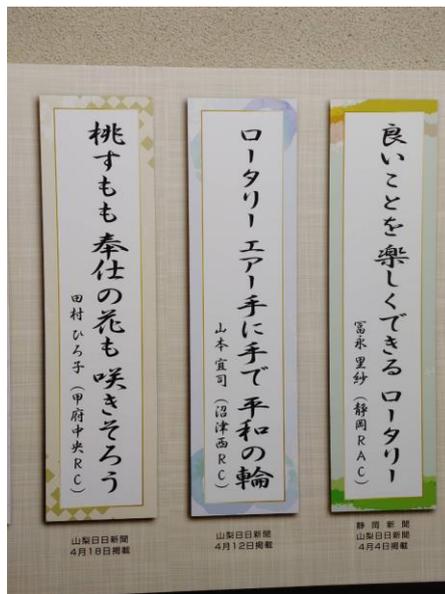
5月21日(土) 甲府記念日ホテル・5月22日(日)YCC 県民文化ホールにて地区大会が開催され、山本 宜司 会長 宮島 賢次 幹事が出席されました。



2日目会場には新聞に掲載されましたロータリー川柳が
展示されました。



■ 鈴木 良則 君のロータリー川柳 ■



■ 山本 宜司 会長のロータリー川柳 ■



晩餐会の様子



また、5月21日(土) 山梨県甲府市丸の内にありますホテル談露館にて米山記念奨学生・学友会・奨学委員による「2022 スモール米山ナイト in 甲府」を規模を縮小して開催されました。

途中、第2地区ロータリーコーディネーターであり、米山記念奨学会副理事長でもあります水野 功 様より、短い時間でしたがお話を謹聴致しました。



水野 功 様





沼津西ロータリークラブ

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2021-2022 年度・クラブテーマ

「和衷協同 ニューロータリー」

会長 山本 宜司 / 幹事 宮島 賢次

第 1421 回 第 31 巻 23 号 2022 年 5 月 26 日

例会プログラム

青少年奉仕月間

■ 「青少年の薬物乱用防止」についての講演 ■

沼津警察署

6 月のプログラム

6 月 2 日(木)	裁量休会
1422 回 12:30 6 月 09 日(木)	アアガーデン迎賓館 クラブ協議会⑤ 次年度活動計画 新旧理事会⑬
1423 回 12:30 6 月 16 日(木)	アアガーデン迎賓館 外部卓話 沼津 JC 理事長 向坂 真奈美 様
1424 回 18:30 6 月 23 日(木)	アアガーデン迎賓館 さよなら例会 (1 年を振り返って) 会長・幹事
6 月 30 日(木)	裁量休会

例会場 〒410-0046 沼津市米山町 3-37
アアガーデン迎賓館沼津
TEL 055-920-5200

事務局 久松会計事務所内
TEL 055-961-2050 FAX 055-961-2600
E-mail : numawestrc@gmail.com

例会日 毎週木曜日 12:30 点鐘

広報委員長 成田 みちよ / 編集者 成田 みちよ

会長挨拶

● 会長 山本 宜司 ●

皆さんこんにちは。

5 月 26 日例会に出席頂きありがとうございます。

さて、本日の会長挨拶は、先日 21 日(土)22 日(日)に行われました地区大会の報告感想を会長挨拶とさせていただきます。当クラブからは、宮島幹事と 2 人の出席となりました。

大会テーマは「温故展新」(故ふるきを温たずねて新あたらしき展ひらく) 私たちロータリアンは、ロータリー的思考と行動によって未来を切り拓いて行かなければならないという意味だそうです。

参加者総数 1121 名静岡第 2 グループの中で一番多くの登録者数があったのは沼津北ロータリークラブの 27 名でした。沼津北ロータリークラブの意識の高さを伺い知れました。21 日(土)は午後 2 時より甲府記念日ホテルにて地区委員長・副委員長・会長・幹事会が行われ小林聡一郎ガバナーの来賓・役員紹介そして挨拶と続き国際ロータリー理事の挨拶があり、コロナの影響もなく無事開催できたことに感謝していました。22 日 YCC 県民文化ホールの本会議では各種表彰がありました。当クラブは 2021~2022 年度 MYROTARY 登録率 90%以上の表彰を 13 クラブの中の 1 つのクラブとして受けました。来年の大会には是非登録率 100%のクラブとしてガバナー表彰されるように頑張りましょう。

また、表彰のなかで、2021~2022 年度在籍 50 年の正会員が 3 名、90 歳以上の正会員が 6 名おられました。その中に当クラブの鈴木良則さんも含まれております。激励で 35 歳以下の会員が 10 名いました。上は 90 歳下は 35 歳以下奉仕の心を持ったロータリークラブの多様性の一つと言ってもいいでしょう。

また今年度中には 2 つのクラブが終結するそうです。しかしながら甲府シテイロータリークラブの衛生クラブが甲府中央ロータリークラブとなり誕生しました。女性会員割合 60%のクラブです。2 日間を通じて時間配分の難しさを感じました。時間がどちらも 30 分以上押しました。記念講演をもう少し時間を取って詳しく聞きたかったです。

出席報告 会員数 27 名

例会	会員数	出席数	出席率
1421 回	24 名	21 名	87.50 %

● ゲスト

1. 静岡県沼津警察署 生活安全課主任主幹
沼津地区少年サポートセンター責任者
少年警察補導員：高橋恵理子様

● 欠席者 (3 名)

永井 克彦、名古 良輔、杉山 恵嗣

● 他クラブへの出席者

山本 宜司、宮島 賢次、成田みちよ
(5/21-22 地区大会)

● スマイル報告

1. 鈴木和憲：誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 植松 正：ポールハリスフェローを頂き、ありがとうございます。
3. 山田和典：この度は、ベネファクター表彰、ありがとうございます。
4. 渡邊勝也：本日は、早退させていただきます。

幹 事 報 告

1、他クラブの例会変更等

ありません

2、報告・連絡事項

- ① 次週6月2日は休会ですのでお間違いないようお願いいたします。
- ② 6月9日は例会後新旧の理事会がありますので、各理事は提案資料の提出をお願いいたします。
- ③ 6月5日(日)の縮小バス旅行および23日(木)のさよなら例会の出欠席の記入をお願いいたします。
- ④ 次年度理事各位は、次年度活動計画書を本日中に必ず事務局に提出してください。

「青少年の薬物乱用防止」について



静岡県沼津警察署 生活安全課主任主幹
沼津地区少年サポートセンター責任者
少年警察補導員 高橋 恵理子 様

薬物乱用とは、薬物や薬品を本来の医療目的からはずれて使ったり、医療目的でない薬物を不正に使ったりすることです。覚醒剤や大麻、コカインといった違法な薬物は、それぞれ法律によって厳しく規制されており、持っているだけでも犯罪になります。

医薬品は用法通りに飲めば薬ですが、これを正しい飲み方をしなかったり、大量に摂取しすると混乱や意識が薄れるなど、いわゆるドラッグを使用した際の感覚に近い症状が現れる場合があります。市販薬の乱用として現在、咳止め薬の乱用が10代を中心に流行しているという事例が報告されています。

かぜ薬や咳止め薬のなかには、覚醒剤の原料であるエフェドリンや麻薬の成分であるリン酸ジヒドロコデイン、

興奮作用をもつカフェインなどが含まれている場合があります。この成分は、咳や頭痛を抑える一方で、飲みすぎると眠気・疲労感がなくなり、多幸感や頭がさえたような感覚などの覚醒作用があります。そのため、これらの市販薬を違法薬物の代替品として使用される事例が多発し、拡大が懸念されています。

大麻や麻薬、シンナーなどの薬物を使用すると、繰返し使いたい、あるいは使っていないと不快になるため使い続ける、やめようと思ってもやめられないという状態になることがあります。薬物依存といいます。

こうなると日常生活に支障が出てやめられない、また薬物を手に入れるためになりふりかまわなくなるといったことが出てきます。

依存状態には欲しいという欲求が我慢できなくなる精神的依存、クスリがなくなると不快な離脱症状が出る身体的依存があります。また、体がクスリに慣れてくるため、同じ効果を感じるためにクスリの量が増える「薬物耐性」がついてしまう場合があります。

薬物に手を出してしまう要因として、薬物を使用した「脳や身体に与える影響」の他、「個人的要因」と「社会的要因」が挙げられます。

個人的要因とは、子供たちが様々な生きづらさを抱える中、苦痛を和らげたり、高揚感や現実からの逃避を求めて薬物を使用すること。

社会的要因とはインターネットやSNS、TVのニュースなどで情報を目にし、また周囲の人から誘われるなど、薬物に触れる機会が身近にある状況にいます。

この薬物に手を出してしまう「個人的要因」と「社会的要因」の解消ができないと、薬物の危険を認識できないまま薬物を使用してしまうかもしれません。

社会的な要因は生活環境自体を変化させねばならないため、なかなか難しいかもしれません。しかし個人的な要因は緩和させることが出来ます。将来への不安や現実の苦痛を、依存性薬物は一気に脳の中枢を刺激し、一時的にやわらげ幸福感も体験させます。そのため薬物を使えば変わる、逃れられると手を出してしまう子供もいると思われれます。薬物に頼らない、手を出さなくても良い生き方今の自分を変えるきっかけに薬物を頼ると乱用や依存につながります。

予防は治療に勝ると言います。

薬物に手をだしてから治療するよりも、手を出させないにする未然予防、未然防止が大切です。

